



公立大学法人  
**宮城大学**  
MIYAGI UNIVERSITY

PROGセミナー2013

動き始めたジェネリックスキルの育成と評価  
—教育改革の現場から見える成果と課題—  
「大学からの事例報告」

# 学生の就業意識 と ジェネリックスキル

宮城大学食産業学部 木村和彦

2013.6.15 仙台

# 本日の内容

- 大学・学部紹介
- ジェネリックスキル：PROG導入
- 就業意識：R-CAP導入
- 解析結果から見えてきたこと
- 今後の課題



ジェネリックスキル



自己分析・適職発見プログラム

# 宮城大学食産業学部 1

- H9：事業構想学部&看護学部 宮城大学（県立大学）開学
- H17：食産業学部 設置
  - 農業関係，食品製造・販売関係，農業土木がターゲット
  - **文系と理系の両方を学ぶ（特に，ファーム&フード）**

	定員	(前期)	(後期)	(推薦)	(外国人)
ファームビジネス学科, Fa	42	20	8	12	2
フードビジネス学科, Fo	52	25	10	15	2
環境システム学科, En	31	14	6	9	2

- **宮城県出身者 約6割（減少傾向）**
- **男：女 約 5:5～3:7 →女性が多い（特にフード）**
- 入試難易度：国公立農学系の易
  - センター試験受験者の合格最低点レベル  
得点率：60%弱～70%弱程度  
Fo > Fa > En, 後期 > 前期

# 宮城大学食産業学部 2

## ● 就職状況はよい

- **大部分が就職**（公務員は数%），大学院進学は10-20%
- **就職率は毎年ほぼ100%**
  - 大手は若干名で，中堅クラス&地元の会社が大半

## しかし

## ● 就職活動の問題

- 学力が高い学生でも大手は厳しい。
- 中位の学生と思っても，**内定が取りにくい学生**がいる。
- **ESレベルの文章でも苦手**な学生が多い。
- **グループ面接やグループディスカッションが苦手**。

# なぜPROG？

- **学習・就活でがんばらない（がんばれない）  
学生の存在**
  - 努力しない学生：妙な楽観論
  - 対人力が弱い。特にグループ面接
  - 就職率が高いので？ 無関心な教員が存在
- **PROG導入の目的**
  - 実態分析**      **要因解析**      **改善方法**

# PROGとR-CAP

- 受験者：3年生（キャリア開発の授業）
- PROG：2012年11月（学士力→教務）
  - 受験者：133名（解析は2010年入学者のみ）
- R-CAP：2012年10月（キャリア支援）
  - 受験者：117名（解析は2010年入学者のみ）

## R-CAP（心理テスト）

自己分析・適職発見プログラム

価値観， 指向， 興味， 関心を測定

どんな仕事に向くか？ **キャリア指導**

# R-CAP

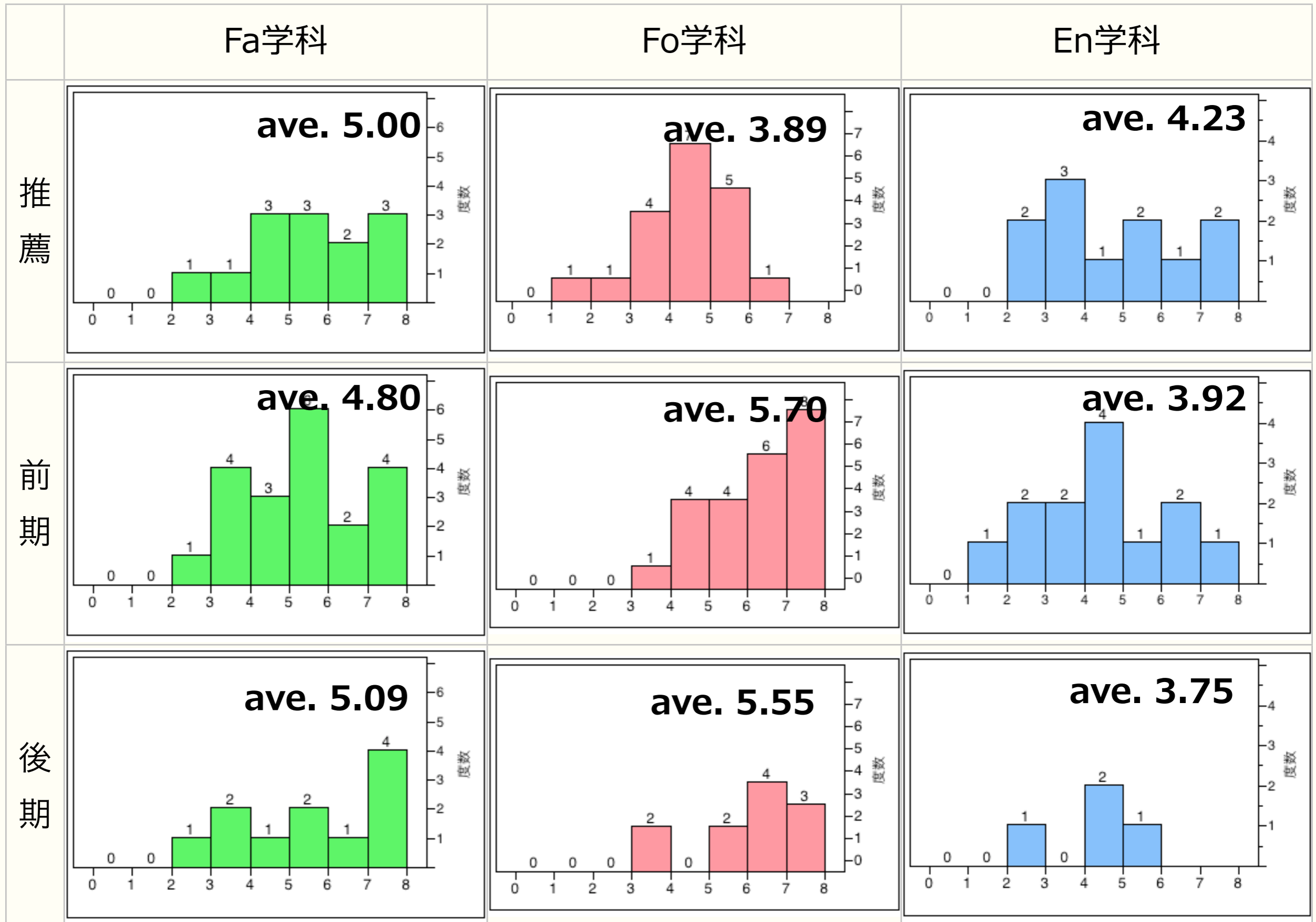
## ● Locus of Control : ロッター (1966)


Internal 能動的	External 受動的
原因を自分に 成功は自分の努力と解釈	原因を自分以外に 失敗の原因は自分以外
個人プレー 指示が多いと嫌	チームプレー 明確な指示が好み
できそうだと思うことは努力/諦める	難問に黙々と取り組む

## ● General Incongruity Adaptation Level, GIAL

	Certainty 確かさ	Uncertainty 不確かさ
慎重 vs 楽観	リスク軽減	リスク覚悟
安定 vs 変化	安定指向	変化好み
一様 vs 多様	同じ人	様々な人との出会い
既知 vs 未知	計画重視	計画よりはまず行動

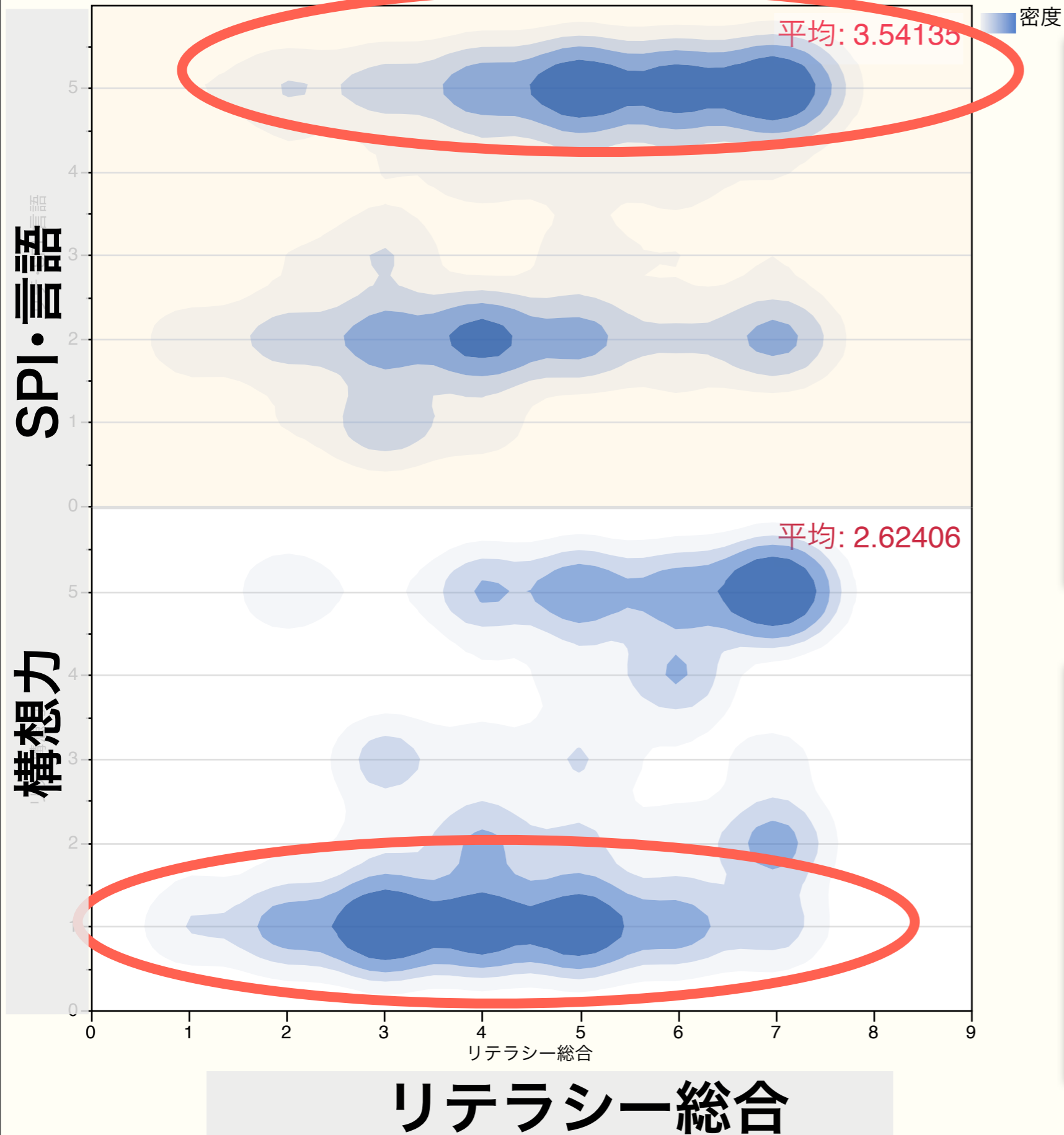
# リテラシー総合の度数分布（学科・入試別）



 正規分布 or 左に裾を引く



X:リテラシー総合,Y:リテ・構想力,リテ・SPI・言語

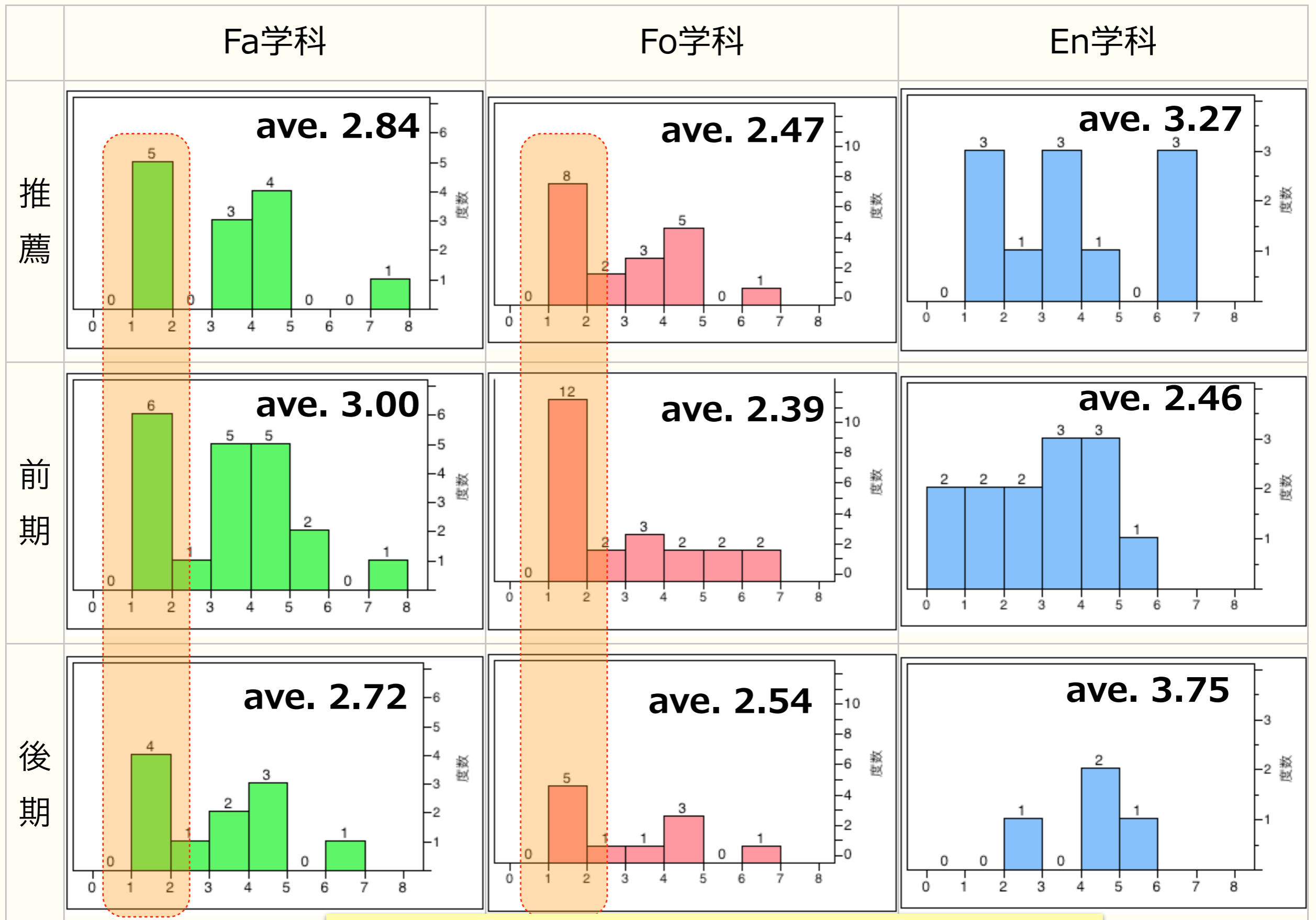


## リテラシー項目

情報収集力  
情報分析力  
課題発見力  
構想力  
言語処理力  
非言語処理力

構想力が弱い

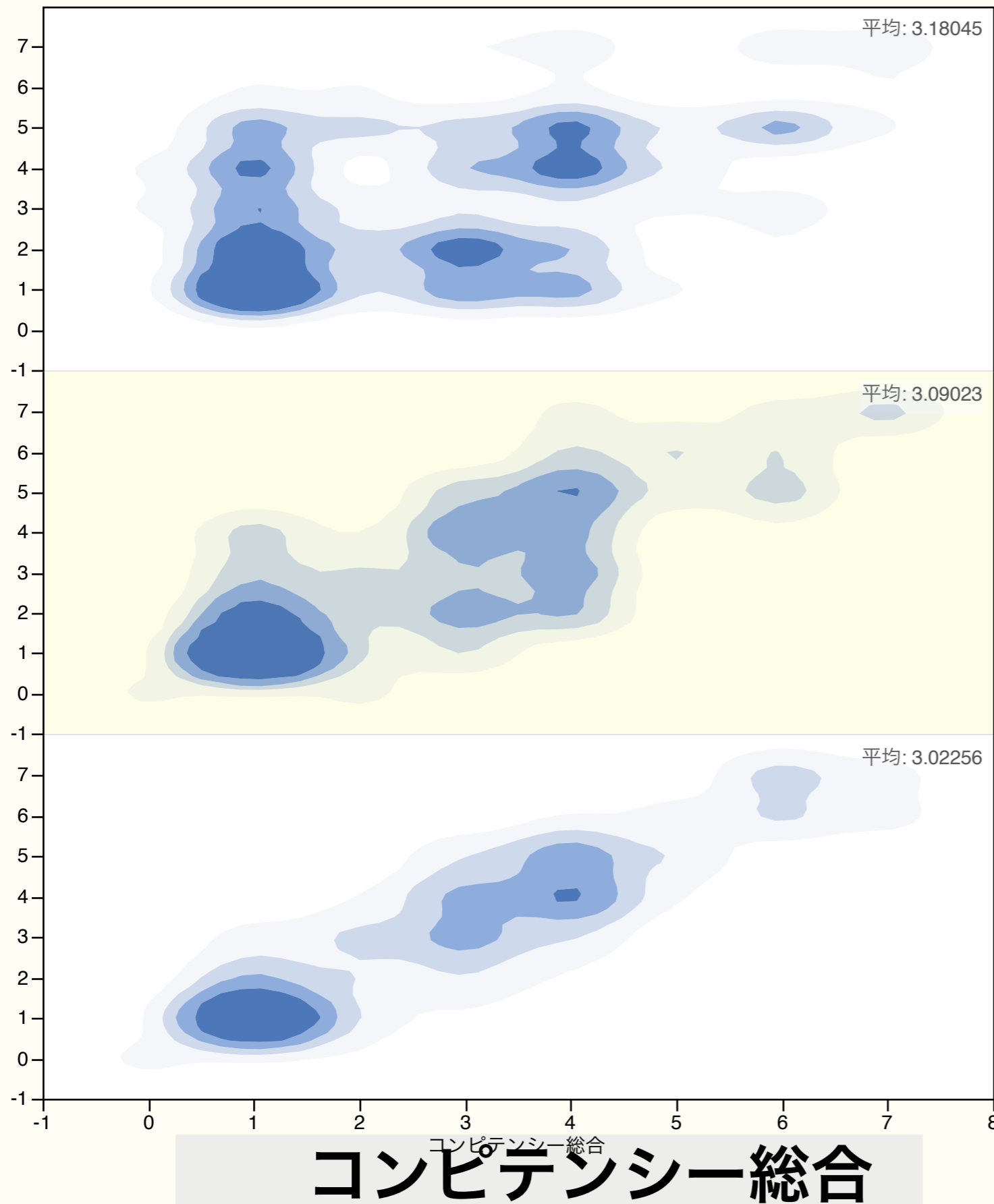
# コンピテンシー総合の度数分布 (学科・入試別)



📍 スコア1が多い (Fa & Fo)

X:コンピテンシー総合,Y:対人基礎力,その他(2)

対課題基礎力  
対自己基礎力  
対人基礎力



## コンピテンシー中項目

対人基礎力

対自己基礎力

対課題基礎力

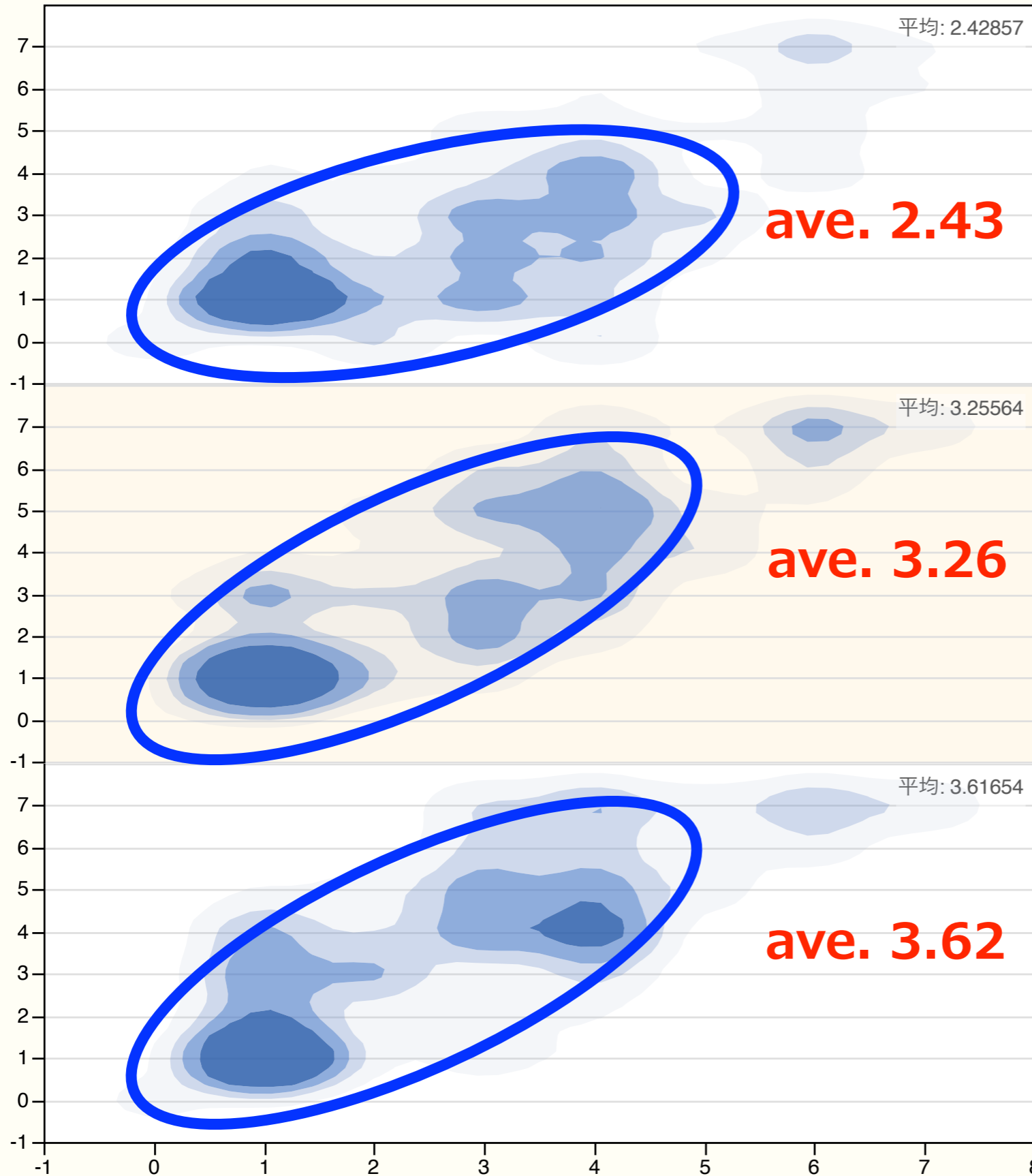
他の国公立に比べて、  
全体的にやや低い

X:コンピテンシー総合,Y:親和力,その他(2)

統率力

共同力

親和力



コンピテンシー総合

コンピテンシー  
対人基礎力 項目

親和力  
共同力  
統率力

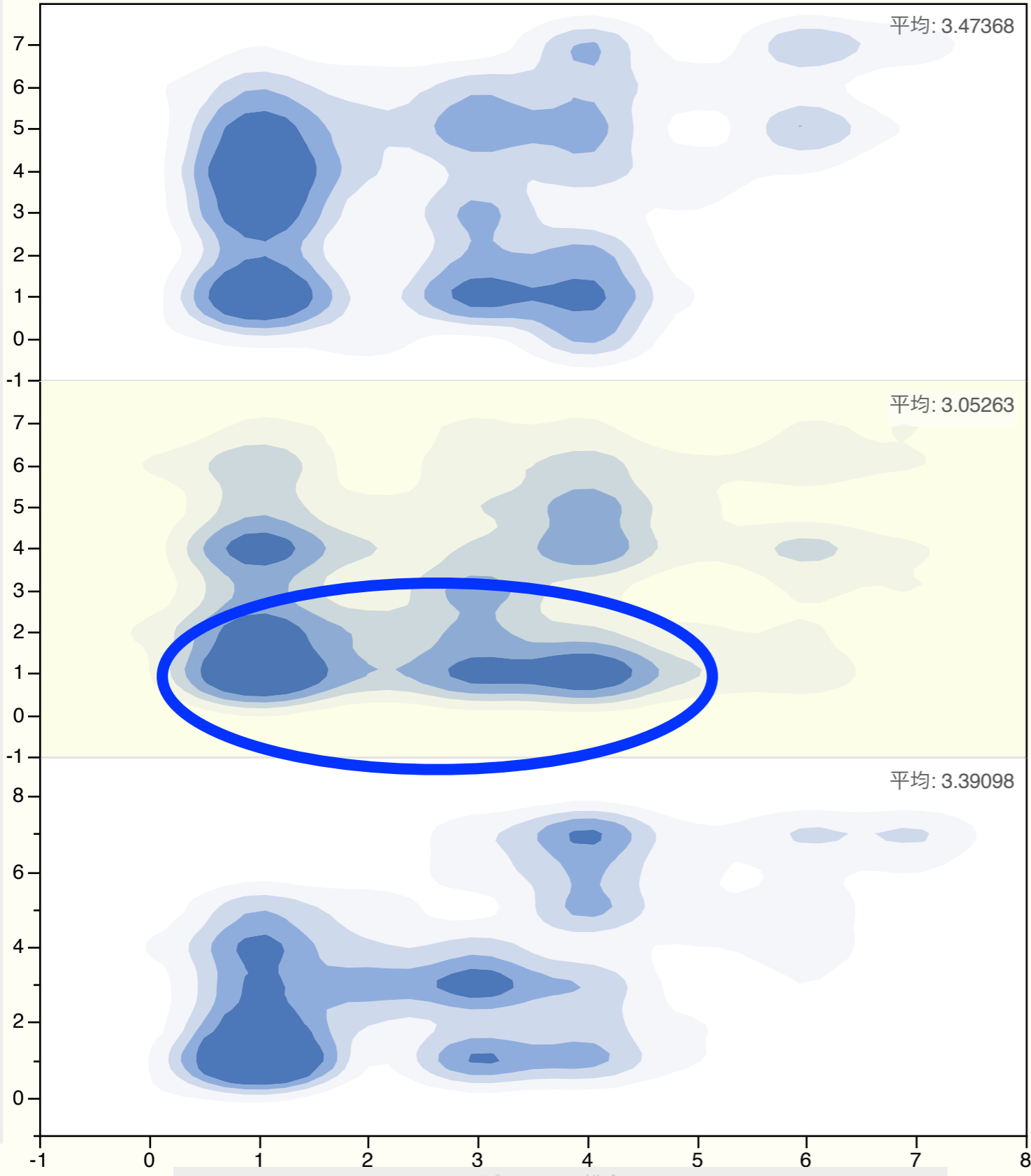
統率力が特に弱い

X:コンピテンシー総合,Y:課題発見力,その他(2)

実践力

計画立案力

課題発見力



密度

コンピテンシー総合

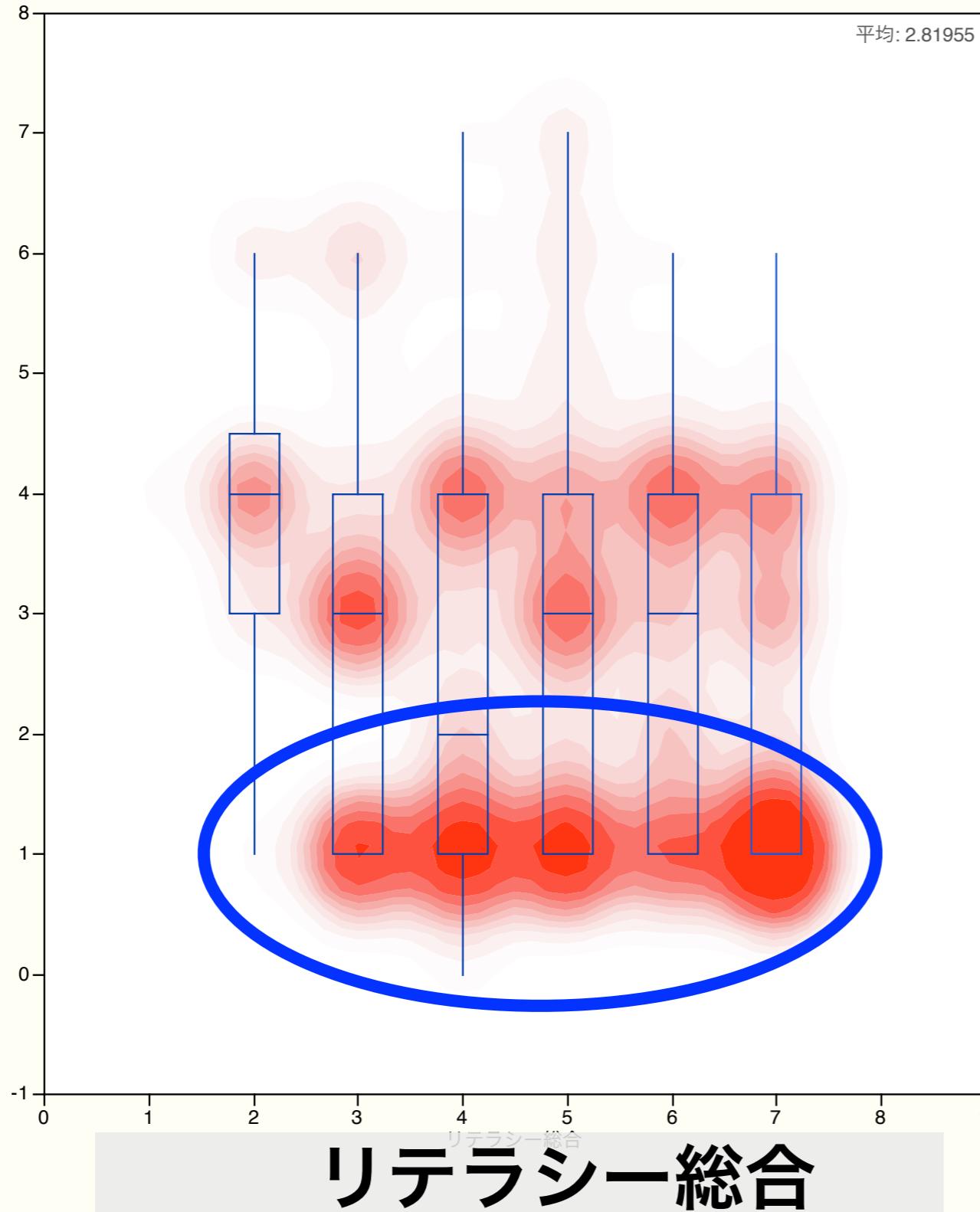
# コンピテンシー 対課題基礎力項目

- 課題発見力
- 計画立案力
- 実践力

計画立案力が弱い

# リテラシーとコンピテンシーは無相関

X:リテラシー総合,Y:コンピテンシー総合

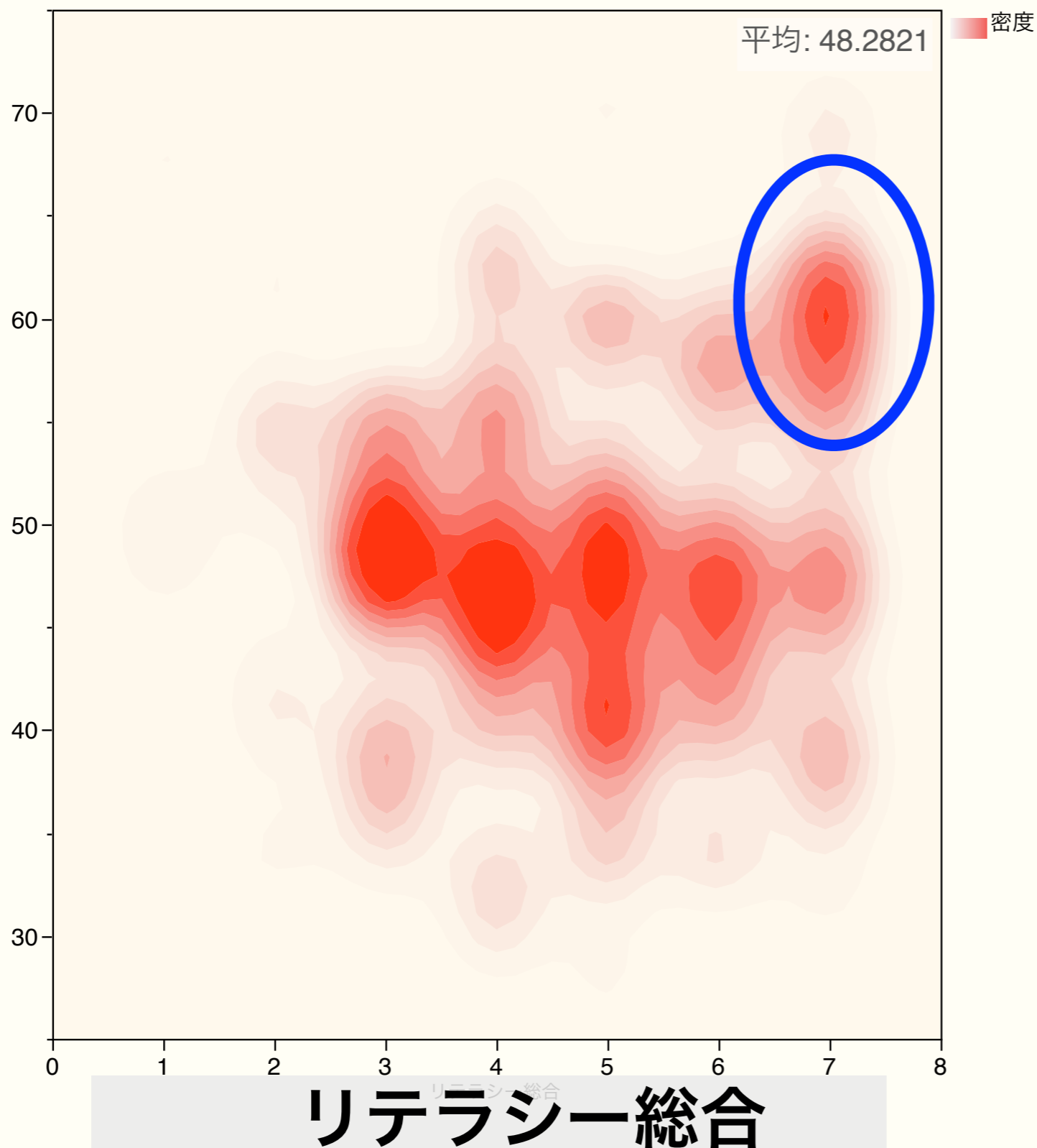


リテラシーが高くてもコンピテンシーが低い学生が多い

# リテラシー vs Locus of Control

X:リテラシー総合,Y:Locus\_Locus

Locus of control

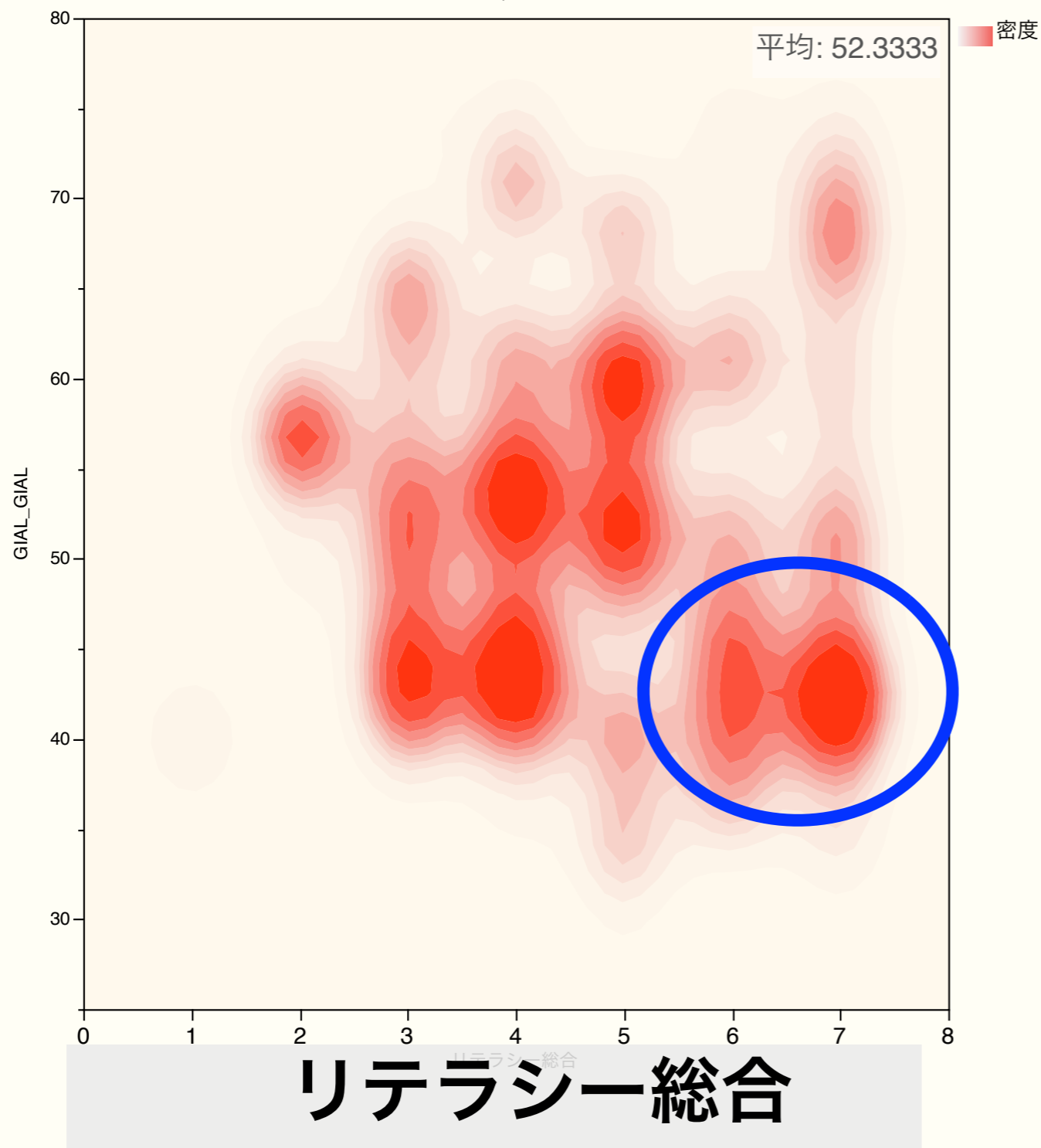


リテラシーが高い  
学生に, External  
指向の学生が多い

原因を自分でない  
外的環境に求める

# リテラシー vs GIAL

X:リテラシー総合,Y:GIAL\_GIAL

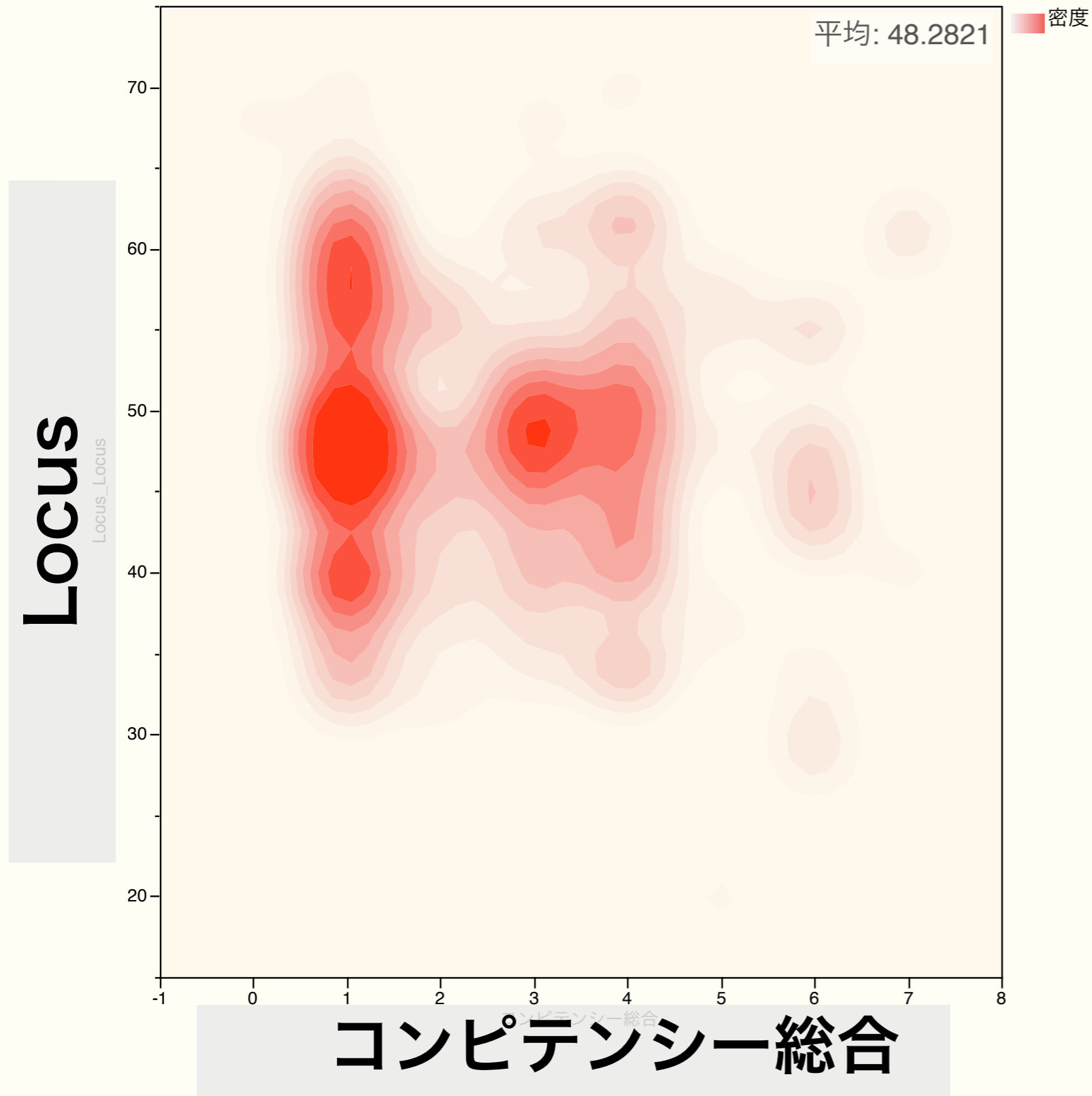


リテラシー高い場  
合にはGIALが低く  
安定志向



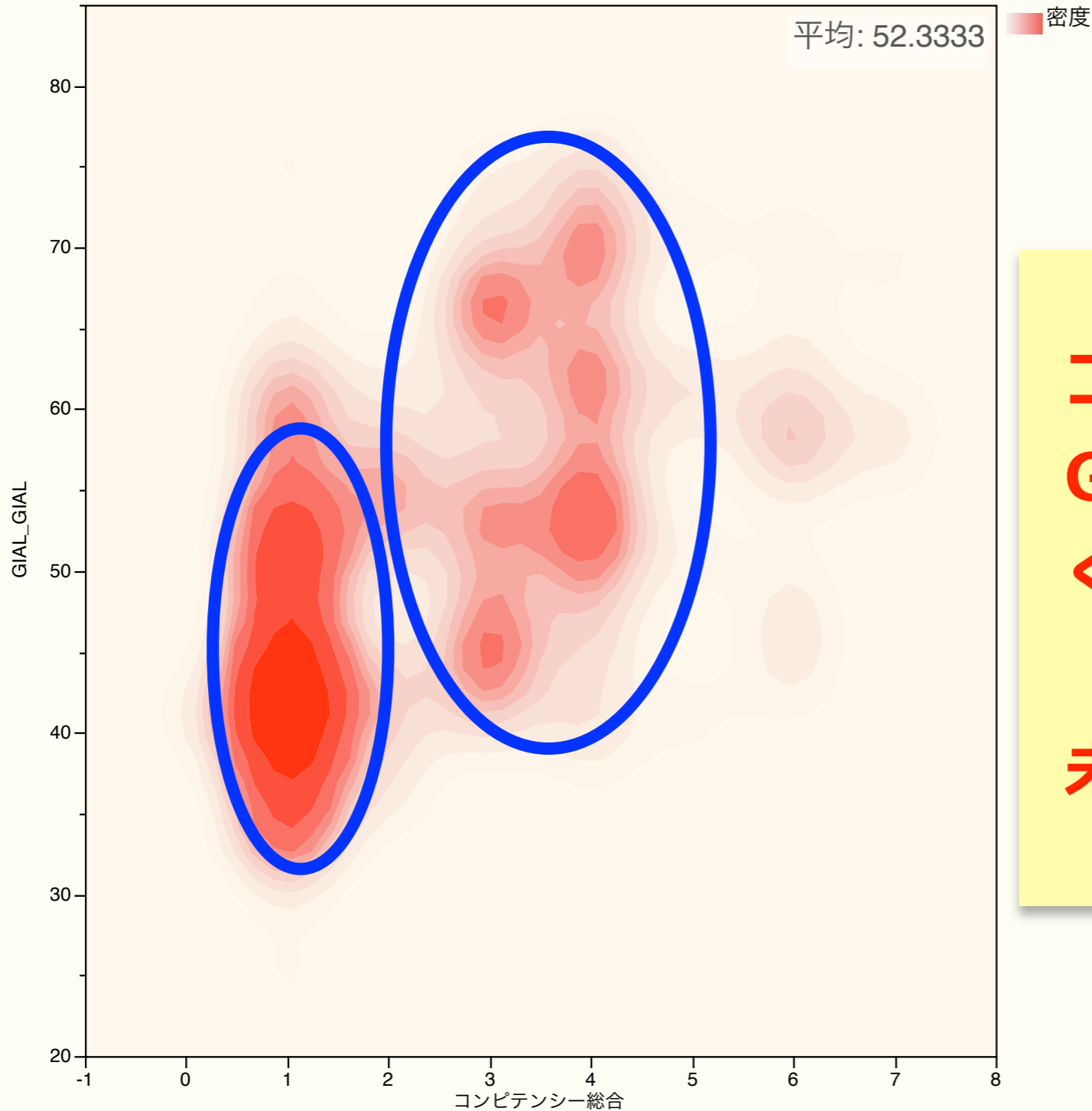
# コンピテンシー vs Locus of Control

X:コンピテンシー総合,Y:Locus\_Locus



# コンピテンシー vs GIAL

X:コンピテンシー総合,Y:GIAL\_GIAL



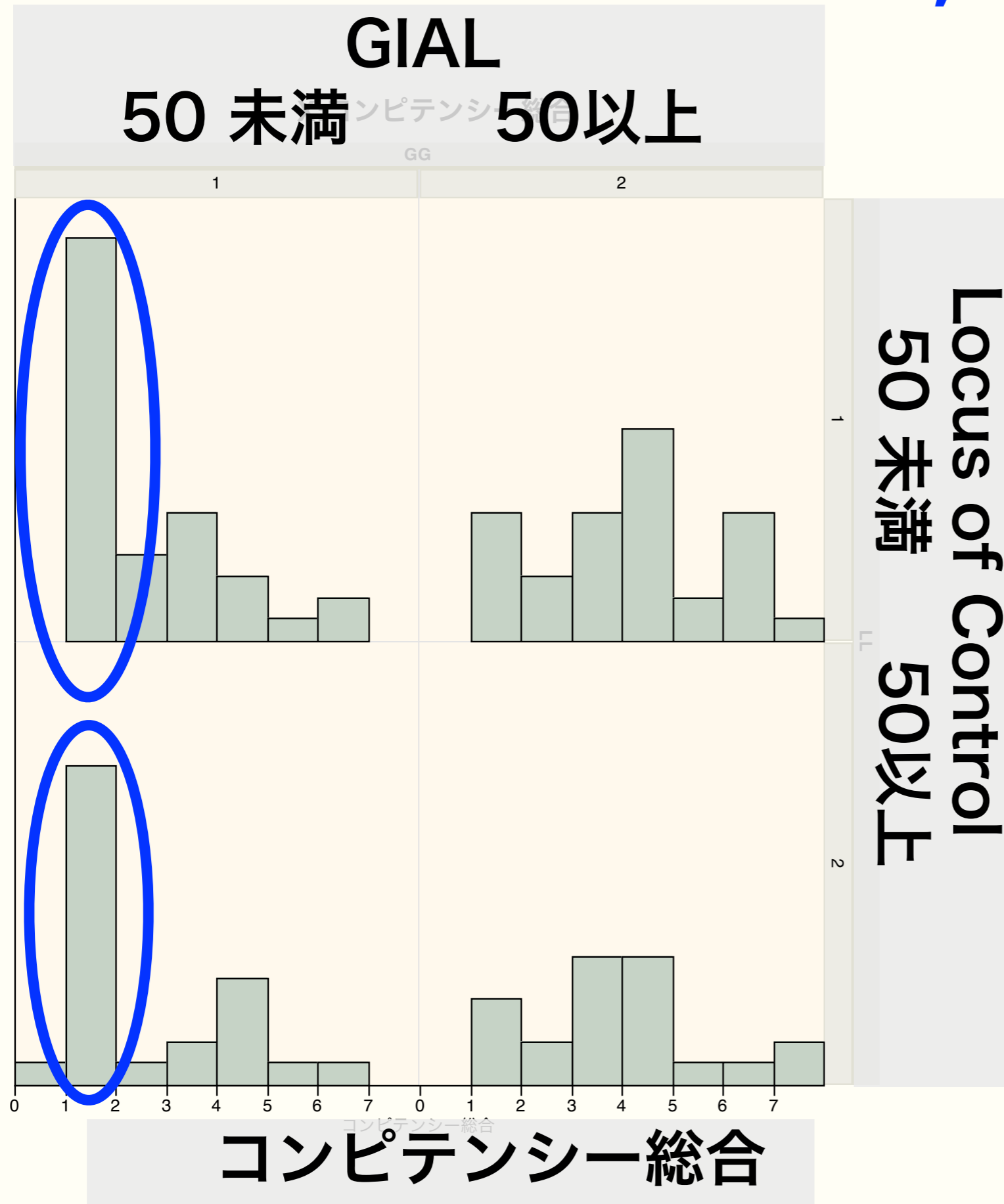
GIAL

コンピテンシー総合

コンピテンシーが高いと  
GIALが高い傾向が出て  
くる。

未知・変化志向

# コンピテンシー vs Locus, GIAL



**Locus, GIAL共に低い場合にコンピテンシー1が多い**

# わかったこと

- リテラシー ●, コンピテンシー ▲
  - ▶ 印象を客観的に示す。
- リテラシーとコンピテンシーは相関しない
  - ▶ 予想よりも相関しない。
- 高リテラシー, 低コンピテンシーな学生
  - ▶ 予想よりも遙かに激しい。
- 低コンピテンシー ⇒ 低Locus, 低GIALの傾向
  - ▶ 今後の検討



自信を持ってない学生が多い

# 今後の課題

- 課題

- ▶ 3年生で良いのか
- ▶ 次のステップに向けての学内合意形成

- 利用法

- ▶ 学部全体の特徴を掴む
- ▶ 個別指導
- ▶ 就職内定状況と併せての解析
- ▶ カリキュラム・授業でコンピテンシーを上げる



**成長を実感できる経験**

# まとめ

